

**2013年3月期
決算説明資料
(2012年4月～2013年3月)**

2013年5月17日(金) 決算説明会 発表資料

東洋合成工業株式会社

■ 目次

1. 2013年3月期 決算概要 (P 3～)
2. 2014年3月期 通期見通し (P12～)
3. 今後の展望について (P14～)

1 . 2013年3月期 決算概要

2013年3月期 決算(連結)のポイント

- 売上高は前期比+1.4%、計画進捗率94%**
 - (感光材)感光材部門は、液晶・半導体ともに堅調に推移。エネルギー部門も受注が本格化。
 - (化成品)香料部門は大幅減。グリーンケミカル部門は微減。ロジスティック部門は、前期並みに推移。
- 経常利益は前期比△74.2%、計画進捗率675%**
 - (感光材)感光材部門の半導体用途の先端品が、大幅伸張。液晶向けも復調傾向。利益に大きく貢献。
 - (化成品)香料工場の本格稼働による固定費増、販売苦戦により大幅マイナス。

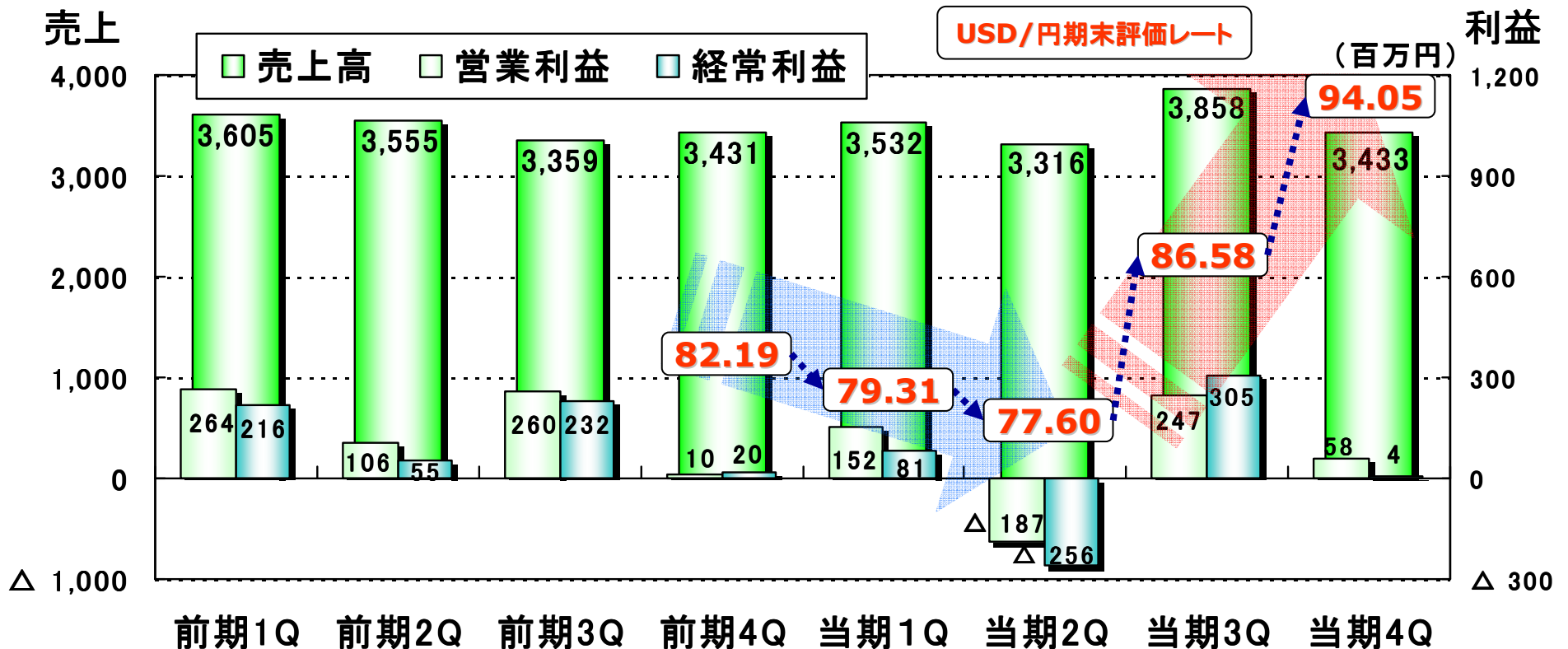
科目 (百万円)	前期 実績 (A)	当期 実績 (B)	通期計画 ※ (C)	(B-A) / (A) 前期 増減率	(B) / (C) 対計画 進捗率
売上高	13,952	14,141	15,000	+1.4%	94.2%
営業利益	641	271	120	△57.6%	225.8%
経常利益	524	135	20	△74.2%	675.0%
当期純利益	384	43	0	△88.8%	- %

※2012年11月9日発表

■ 全社 売上・営業利益・経常利益 四半期別推移

◎売上 ……(感光材)下期以降、半導体向け・液晶向け堅調。
 (化成品)香料苦戦、グリーンケミカル下期回復。

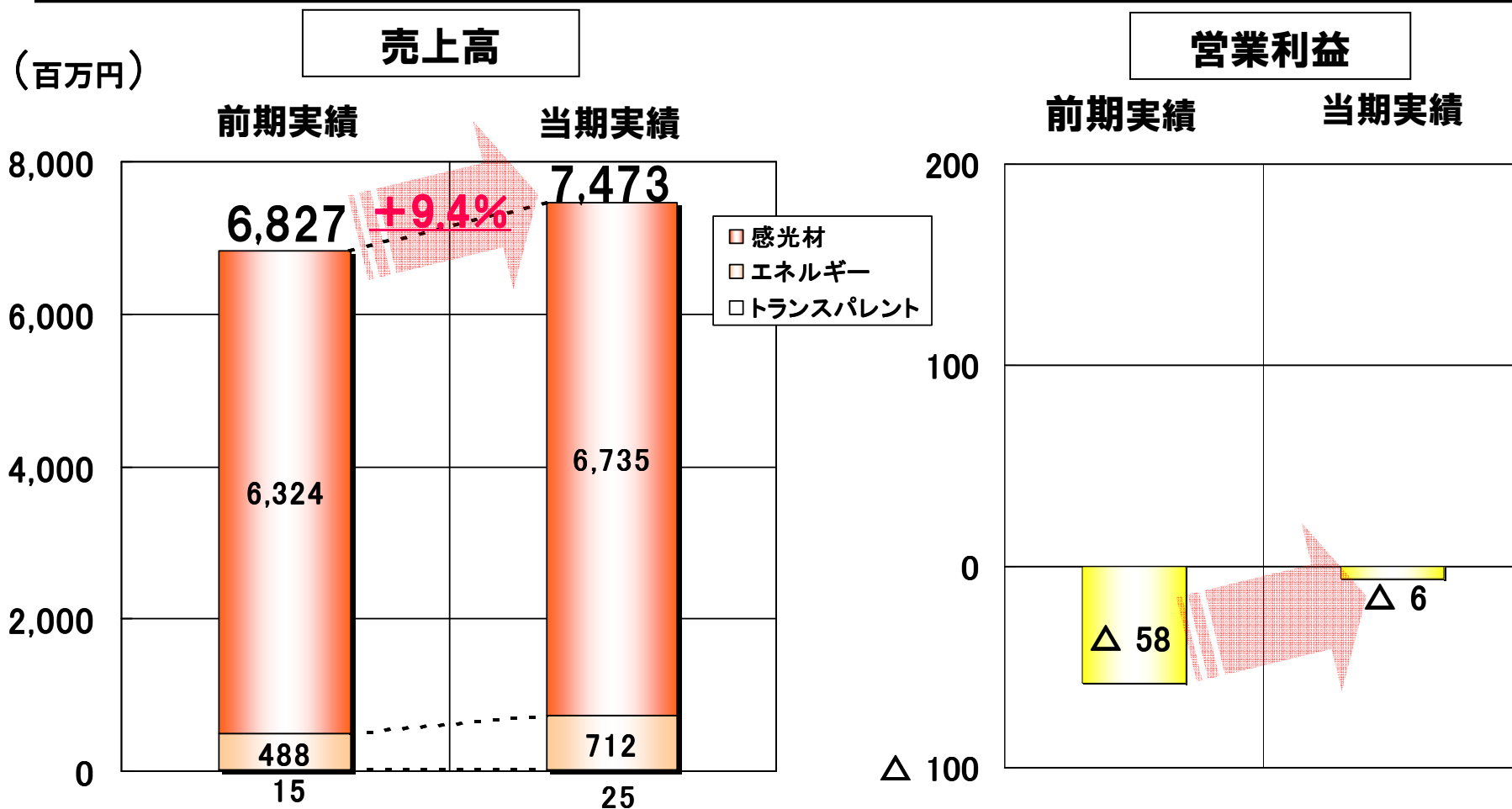
◎経常利益 ……(感光材)先端品の売上好調。円安追い風で増益基調。
 (化成品)香料工場の償却負担増により大幅減。



■感光性材料事業 売上高・営業利益

売上高は、前期比9%増加。営業利益は、前期比+52百万円。

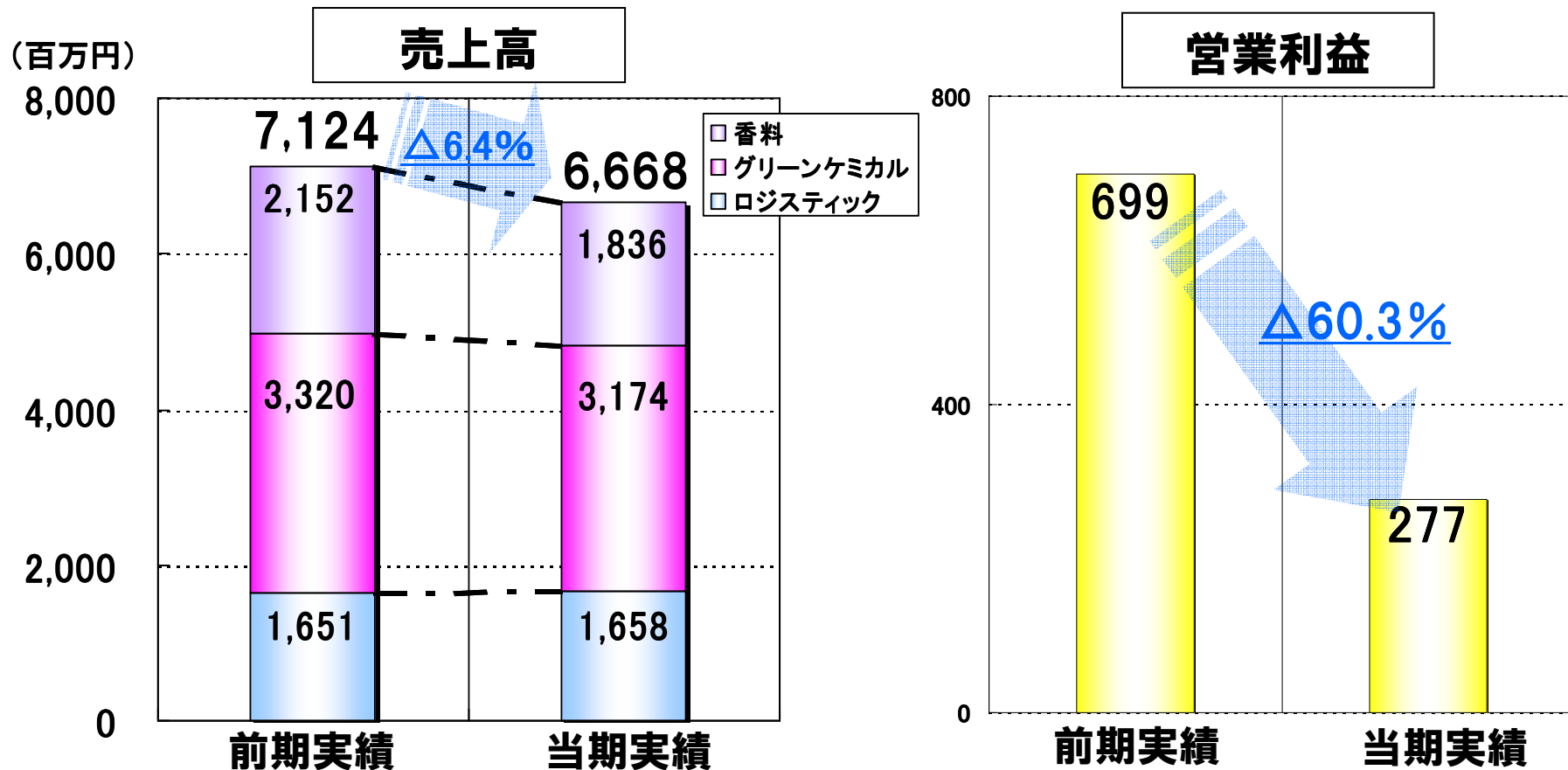
- 感光材部門は、半導体向け先端品が好調。液晶向けも回復傾向。
- エネルギー部門は、キャパシタ向け電解液の受注増加。



化成品事業 売上高・営業利益

・ 売上は、前期比6%減少。営業利益は、前期比60%減少。

- 香料部門は、円高と工場新設による固定費増が重なり、大幅減少。足元は円安により競争力回復傾向。
- グリーンケミカル部門は、第2四半期の市況悪化が響き、前期比微減の状況。
- ロジスティック部門は、前期同水準で推移。



2013年3月期末 連結損益計算書

- 【売上原価】 新工場立ち上げにともなう一時的な原価率の上昇。
 【販売管理費】 新工場要員含め人員増加による人件費負担増加。(+58百万円)
 【営業外費用】 借入増加にともない、支払利息が増加。(+49百万円)

科 目 (百万円)	2012年3月期 決算(連結)実績	2013年3月期 決算(連結)実績	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	13,952	14,141	189	+1.3%
売上原価	10,865	11,397	532	+4.8%
売上総利益	3,086	2,743	△343	△11.1%
販売管理費	2,444	2,471	27	1.1%
営業利益	641	271	△370	△57.7%
営業外収益	68	107	39	+57.3%
営業外費用	185	244	59	+31.8%
経常利益	524	135	△389	△74.2%
特別利益	6	0	△6	—
特別損失	20	32	12	+60.0%
税引前当期純利益	510	103	△407	△79.8%
法人税等・少数株主持分利益	126	59	△67	△53.1%
当期純利益	384	43	△341	△88.8%

2013年3月期 連結貸借対照表

【流動資産】 現金預金を1億円強圧縮。水準としては、ほぼ前期末並み。

【固定資産】 香料工場および淡路工場への設備投資を実施。前期に比べて約33億円増加。

【負債】 香料工場および淡路工場の建設資金を全て借入にて調達。前期に比べて36億円増加。

科目 (百万円)	2012年 3月期 (連結)	2013年 3月期 (連結)	増減	科目 (百万円)	2012年 3月期 (連結)	2013年 3月期 (連結)	増減
流動資産	9,960	9,824	△135	負債	20,063	23,197	+3,134
現金預金	1,808	1,669	△139	買掛債務	1,931	2,039	+107
売上債権	2,574	2,268	△305	有利子負債	13,308	16,942	+3,633
棚卸資産	5,178	5,470	+291	その他	4,823	4,216	△607
その他	398	415	+17				
固定資産	16,659	19,943	+3,284	純資産	6,556	6,570	+14
有形固定資産	15,697	19,013	+3,316	株主資本	6,565	6,555	△10
無形固定資産	407	312	△94	評価・換算差額等	△10	14	+24
投資・その他	554	617	+62	少数株主持分	0	—	△0
資産合計	26,619	29,768	+3,148	負債・純資産合計	26,619	29,768	+3,148

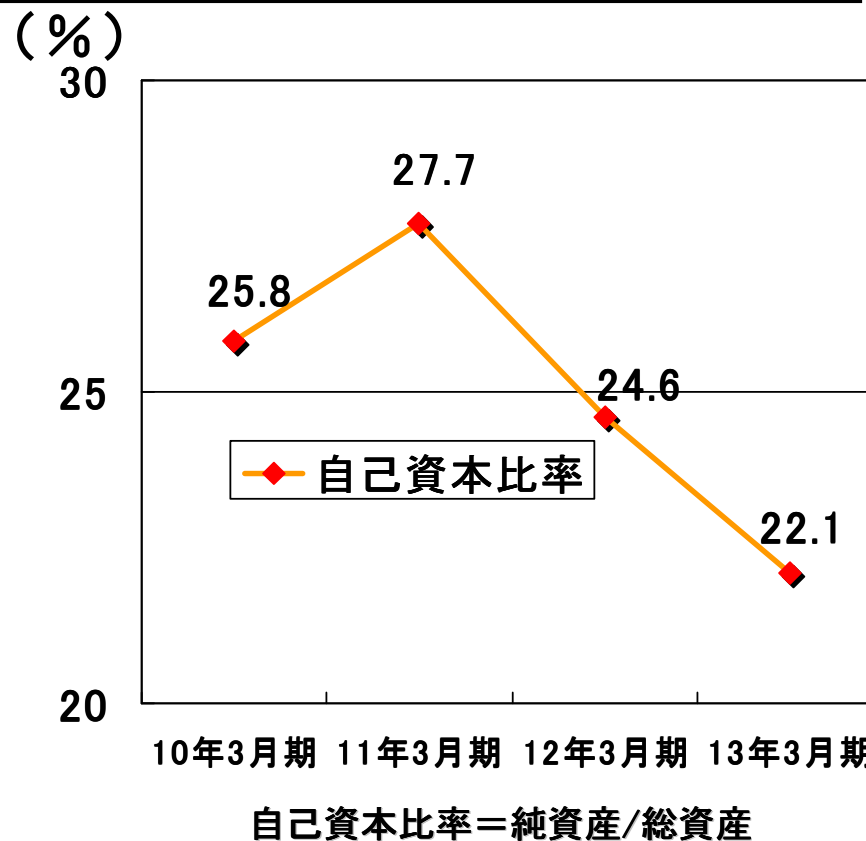
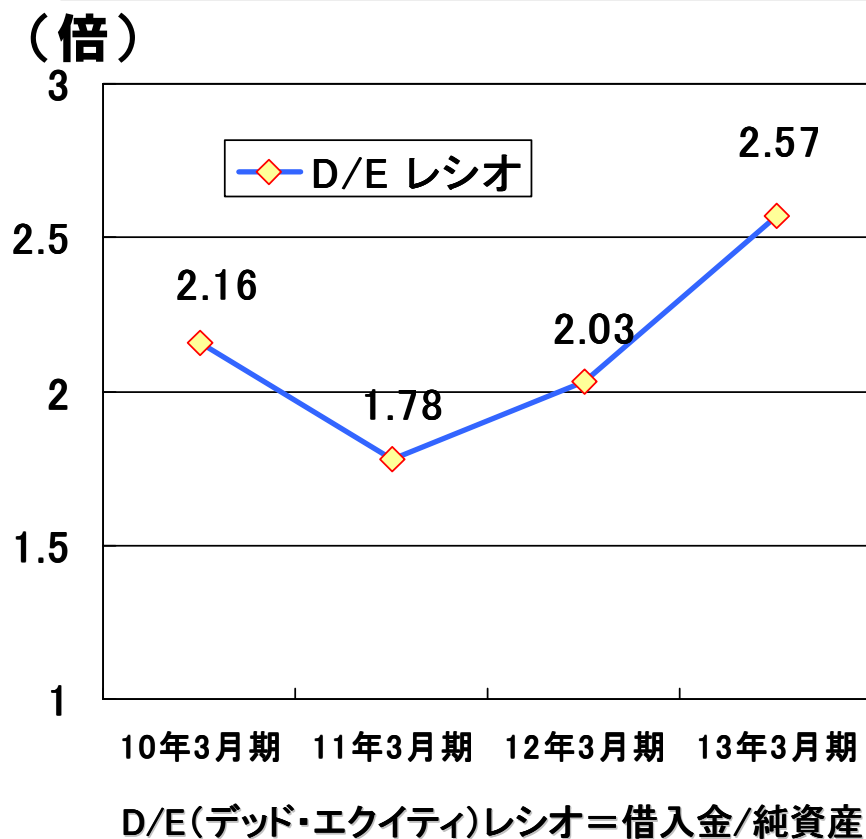
■ 2013年3月期 連結キャッシュフロー計算書

- ・運転資金の減少により営業CFは1.8億円増。
- ・フリーCFのマイナス部分を借入金でカバー。(借入36億円増)

科 目 (百万円)	2012年3月期 (連結)	2013年3月期 (連結)	増減
営業活動によるCF…(A)	1,481	1,666	+185
税金等調整前純利益	510	103	△407
減価償却費	1,841	1,435	△406
たな卸資産の増減額	△1,076	△291	+785
その他運転資金の増減	△49	413	+462
その他	256	6	△250
投資活動によるCF…(B)	△2,877	△5,327	△2,450
フリー・キャッシュフロー(A+B)	△1,396	△3,661	△2,265
財務活動によるCF	2,121	3,518	+1,397
現金及び現金同等物の増減	+722	△129	△851
現金及び現金同等物の期末残高	1,298	1,169	△129

「D/Eレシオ」・「自己資本比率」の推移

- ・工場建設資金を全て借入金で調達したため、D/Eレシオは上昇。
- ・黒字を確保したものの香料工場および淡路工場等の固定資産の増加が影響し、自己資本比率は22.1%へ低下。



2. 2014年3月期 通期見通し

2014年3月期 業績予想

- ・売上は通期で160億円を計画。(上期:75億円 下期:85億円)
- ・新工場の償却負担が増加し経常利益△1億円。
- ・資産の売却等により、最終利益は黒字を確保。

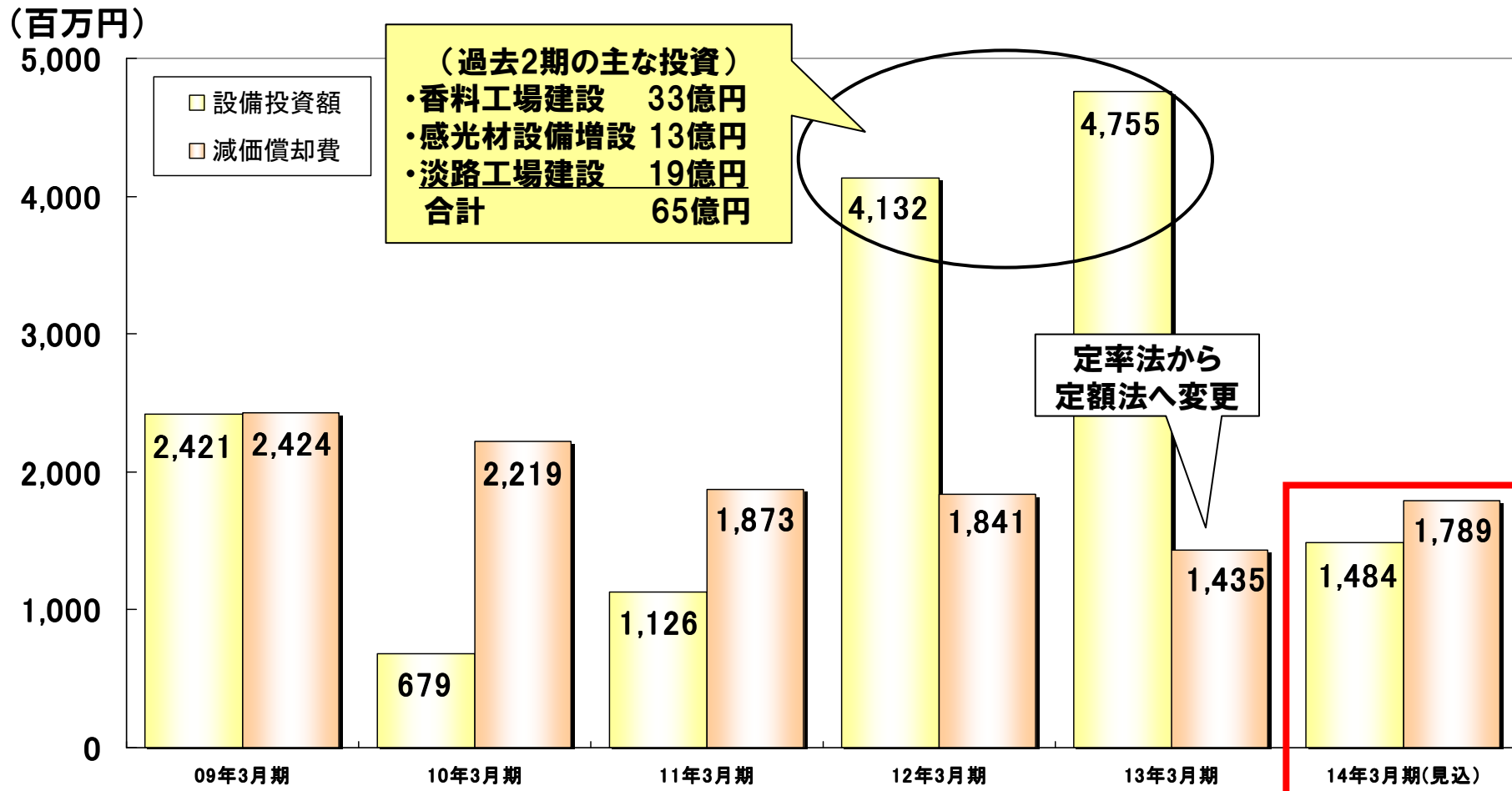
科目 (百万円)	2014年 3月期(連結) 上期業績予想	2014年 3月期(連結) 下期業績予想	2014年 3月期(連結) 通期業績予想	2013年 3月期(連結) 実績	前期比 増減額
売上高	7,500	8,500	16,000	14,141	+1,859
営業利益	△50	△150	△200	271	△471
経常利益	△50	△50	△100	135	△235
当期純利益	100	△70	30	43	△13

想定為替レート:USD=93円

3 . 今後の展望について

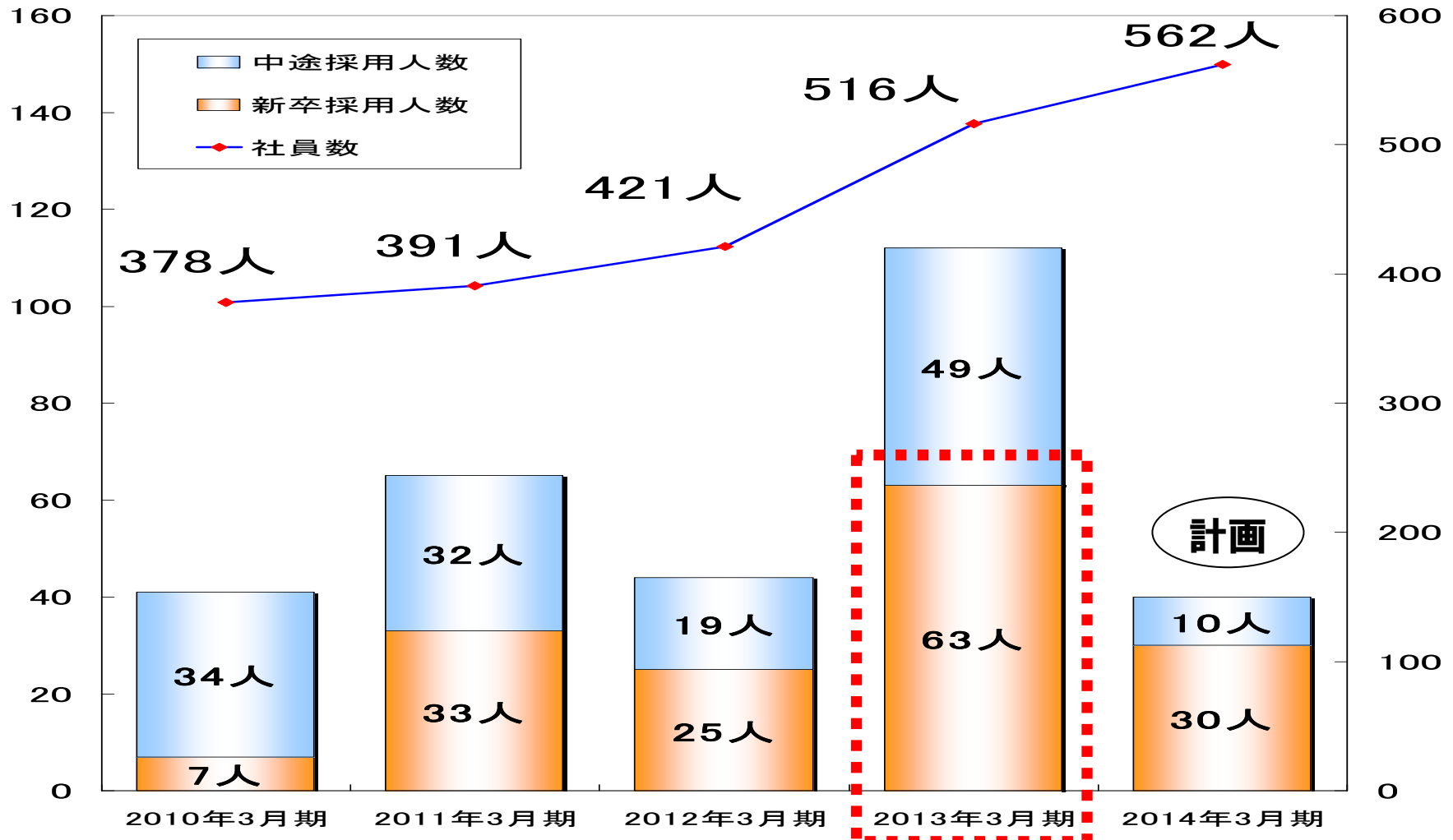
■ 設備投資と減価償却費の推移および計画

- ・大型投資は一巡。(淡路工場18.5億円)
- ・今期の設備投資は償却費の範囲内で計画。(投資15億円<償却費18億円)
- ・減価償却費は前期比+3.5億円の見込み。



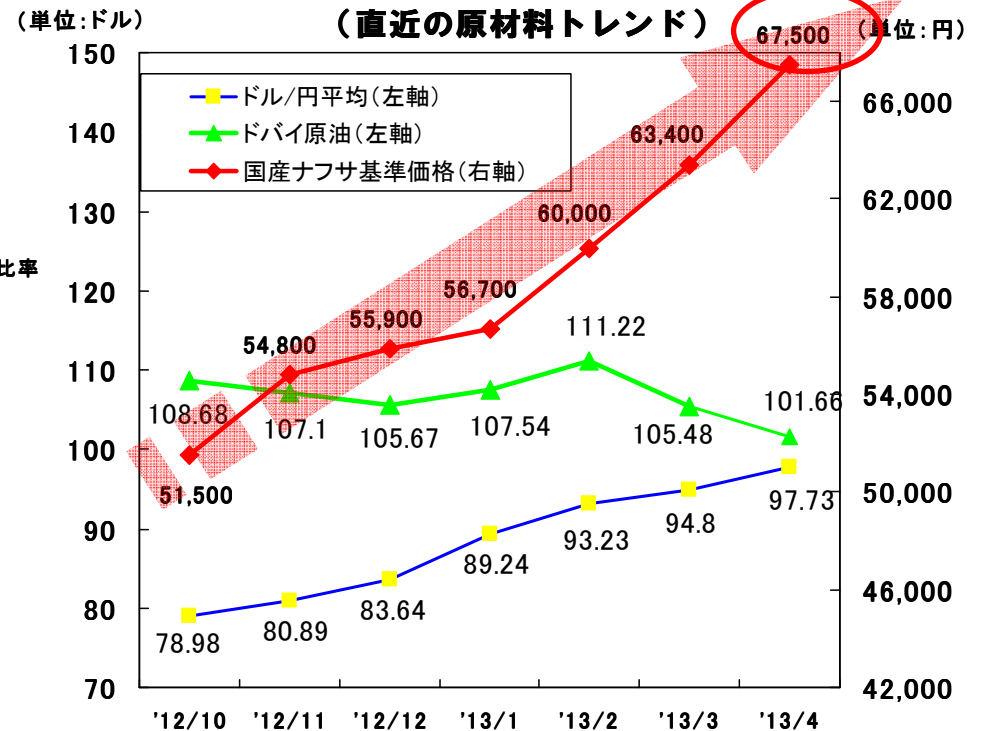
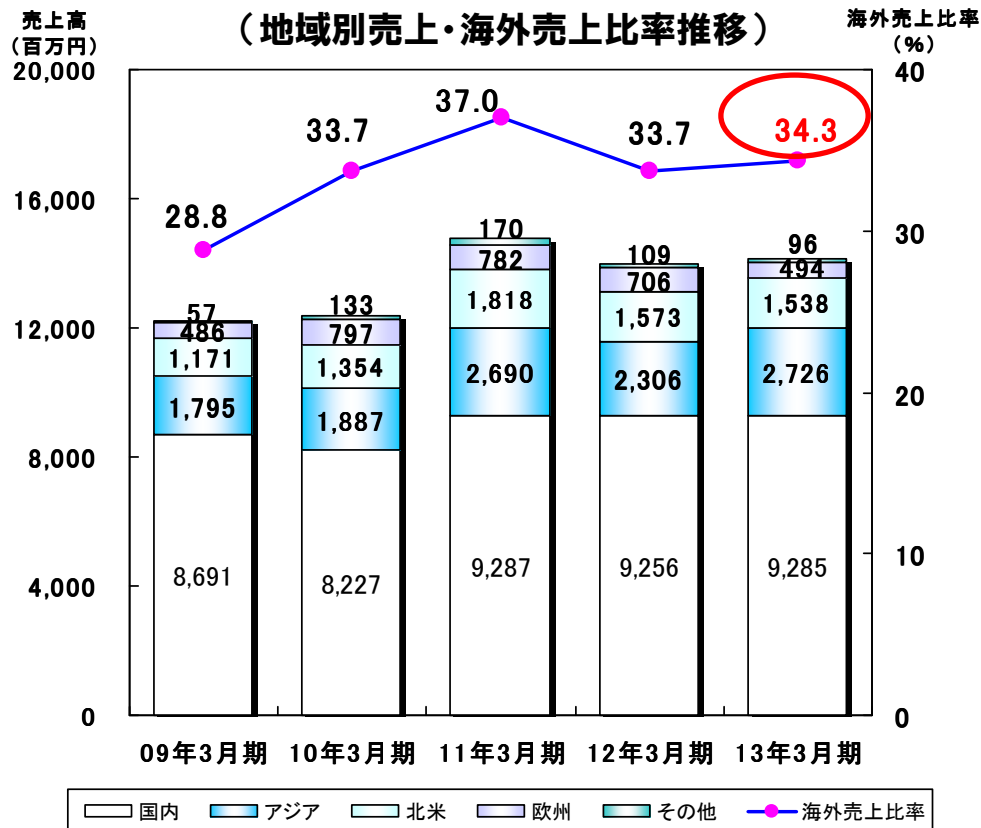
■ 人員の推移について

- ・事業拡大にともない、技術系および生産系を中心に新人採用を強化。
- ・人件費総額は前期32億円、当期37億円。(+5億円)



為替および原材料価格の影響について

海外売上比率は、円高が一服し、上昇傾向。
(アジア向け堅調)



- ドル建ベースのドバイ原油は横ばい。
- 円安が進み、国内ナフサ価格上昇にともない国内調達の原料価格上昇。

(2014年3月期 為替感応度)
1ドル=40百万円 ※原材料価格上昇込み

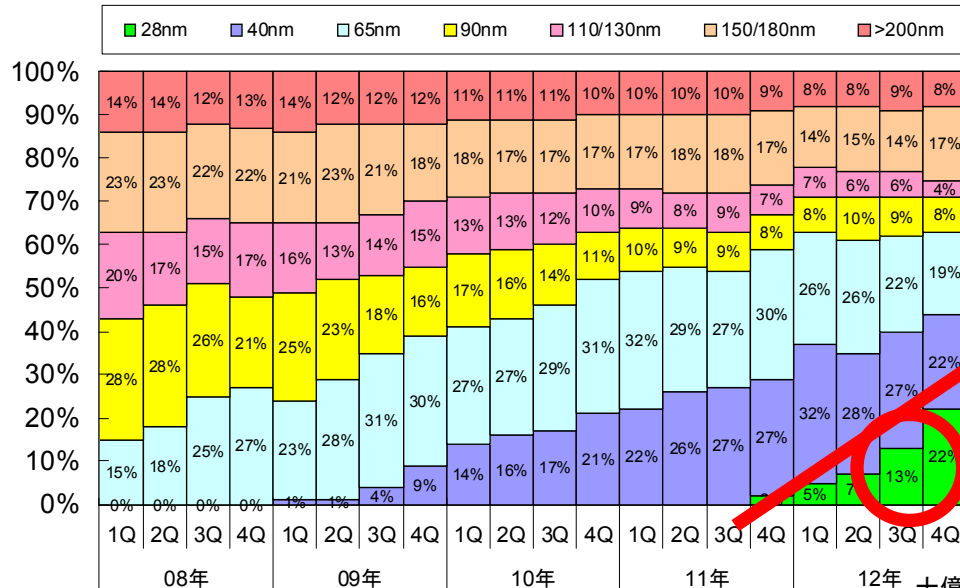
■ フォトレジスト 用途別一覧

・半導体の微細加工技術が進化し、20nmレベルまで量産化。
 ・現在はArFの技術を改良し、微細化を進めている段階。(当社注力領域)

光源	LCDパネル用		半導体用						
	g線	i線	既存品				先端品		開発中
			g線	i線	KrF	ArF	ArF液浸	ArF <small>ダブルパターニング</small>	EUV
ノード	~2,000nm	~1,000nm	~700nm	~200nm	~110nm	~65nm	~45nm	~22nm	~16nm
用途	テレビ用パネル	小型パネル	パワー半導体	NANDメモリ MPU GBメモリ	NANDメモリ MPU GBメモリ	NANDメモリ 2コア GBメモリ	4コア GBメモリ TBメモリ モリ		最先端メモリ・ プロセッサー
市場	新興国の 需要増 価格下落	LTPS (PDA,カーナビ、 携帯電話) の拡大	緩やかに縮小	緩やかに拡大 延命化	拡大 延命化	拡大	急拡大		プロトタイプ露光 機 販売中 材料開発中



半導体市場の動向(台湾半導体大手 開示情報より)

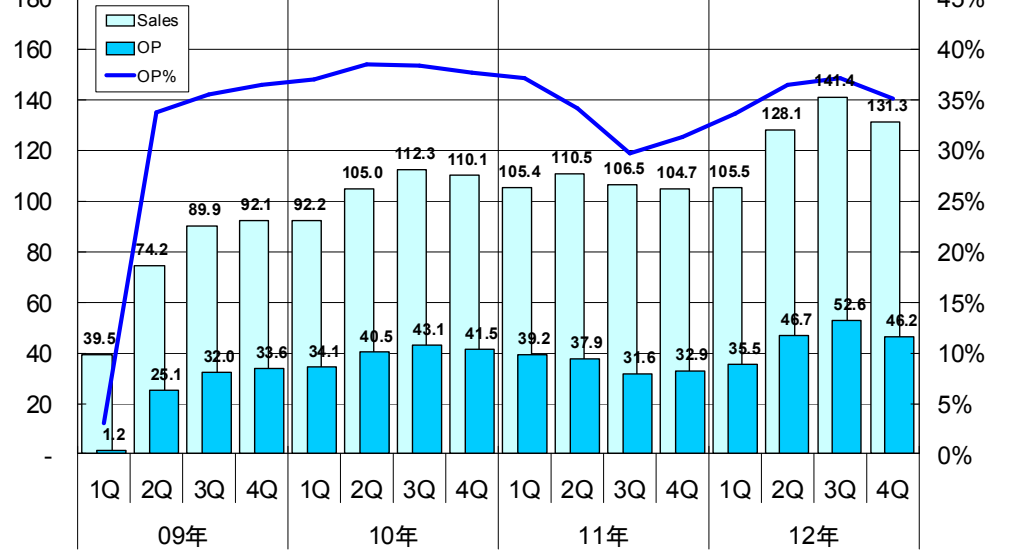


・110～200nmレベルは底堅く推移。
(半導体積層化にともなう需要)

・微細化のニーズが高まり、
2012年は、28nmのシェアが急増。
・EUVの開発遅れにより、ArF技術を
延命化。

線幅別売上シェアの推移(2008年～2012年)

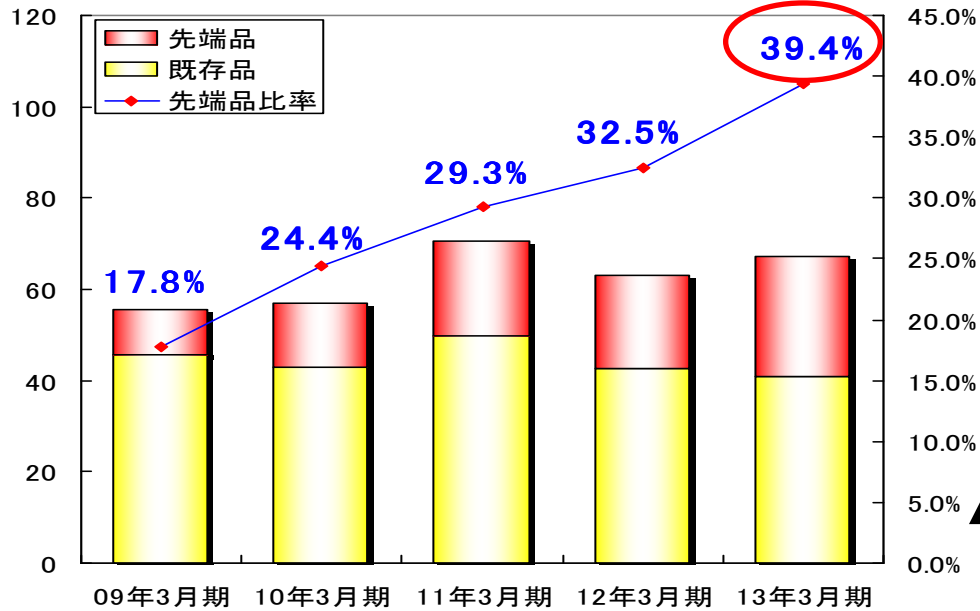
四半期別売上・利益推移(2009年～2012年)



(半導体市場の状況)

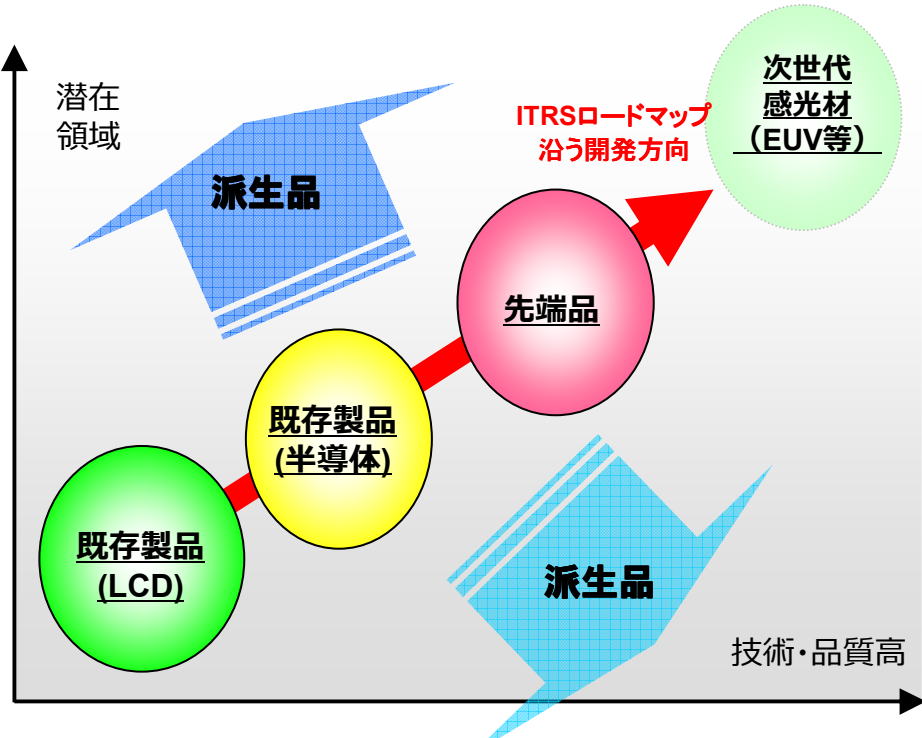
- ・半導体メーカーは、微細化追求。
⇒投資競争激化。
- ・韓国勢に加え、台湾メーカー躍進。

当社の技術開発ロードマップ

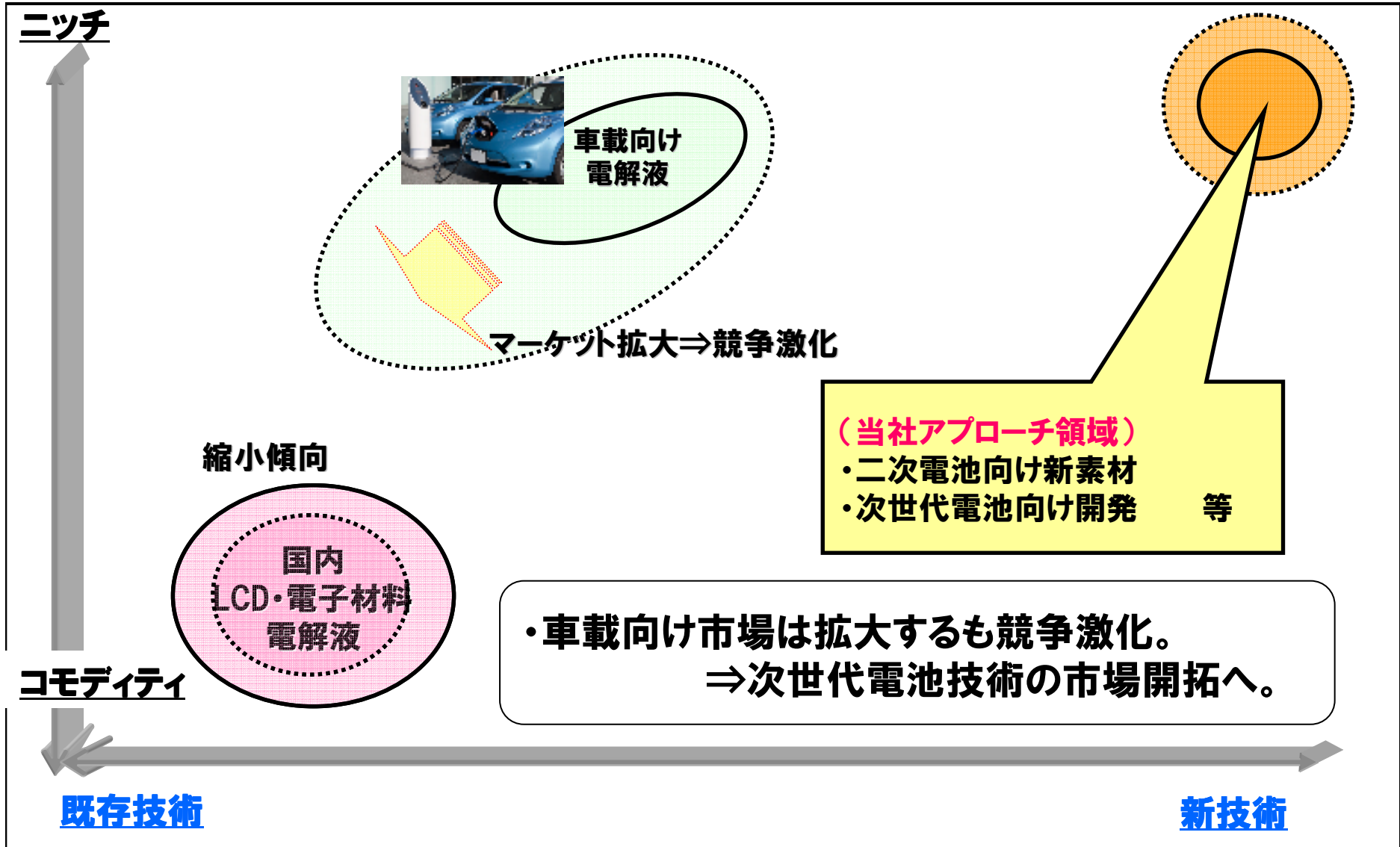


(売上に占める先端品比率)
 ・微細化のニーズは年々増加。
 ・研究開発を進めた結果、
 先端品比率上昇。
 ・今後も先端品の市場拡大を見込む。

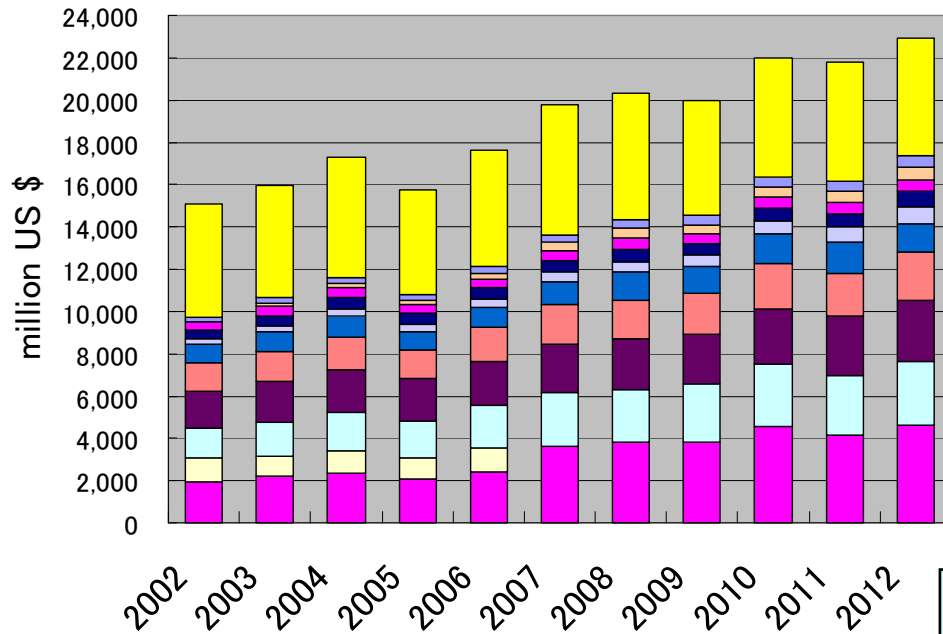
(当社の開発方針)
 ・微細化加工が進むフォトレジストの
 メインストリームが基本方針。
 ・派生品も含め提案。



エネルギー関連市場に対する当社の対策



世界の香料市場の推移



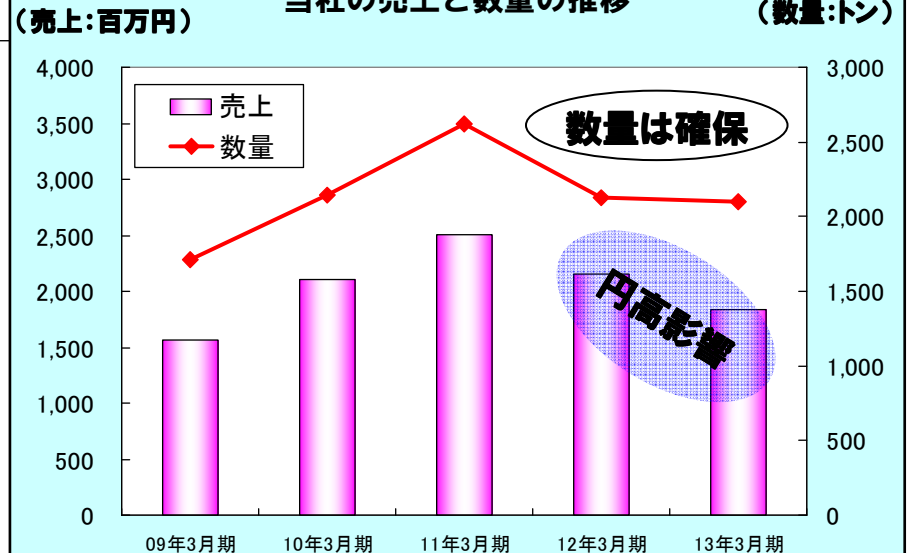
香料市場の規模(ドルベース)は平均4%台で成長。BRICsおよびASEANの経済成長が牽引。

(当社の状況)

- ・円高の影響を受け、売上減少。
- ・数量ベースは横ばいを確保。

⇒円安を追い風に売上回復を狙う。

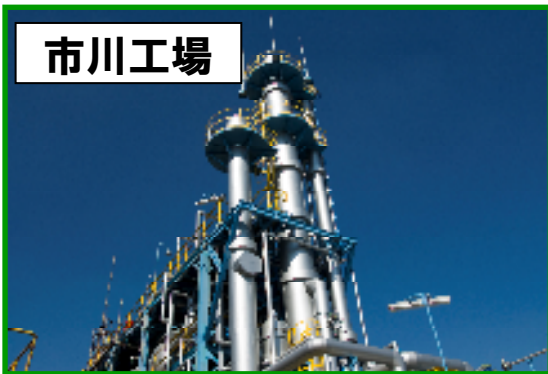
当社の売上と数量の推移



数量は確保

円高影響

香料工場の稼働確保に向けて



設備を活用し、蒸留案件獲得を狙う。
(背景:エチレンプラント再編等)

鹿島臨海工業地帯

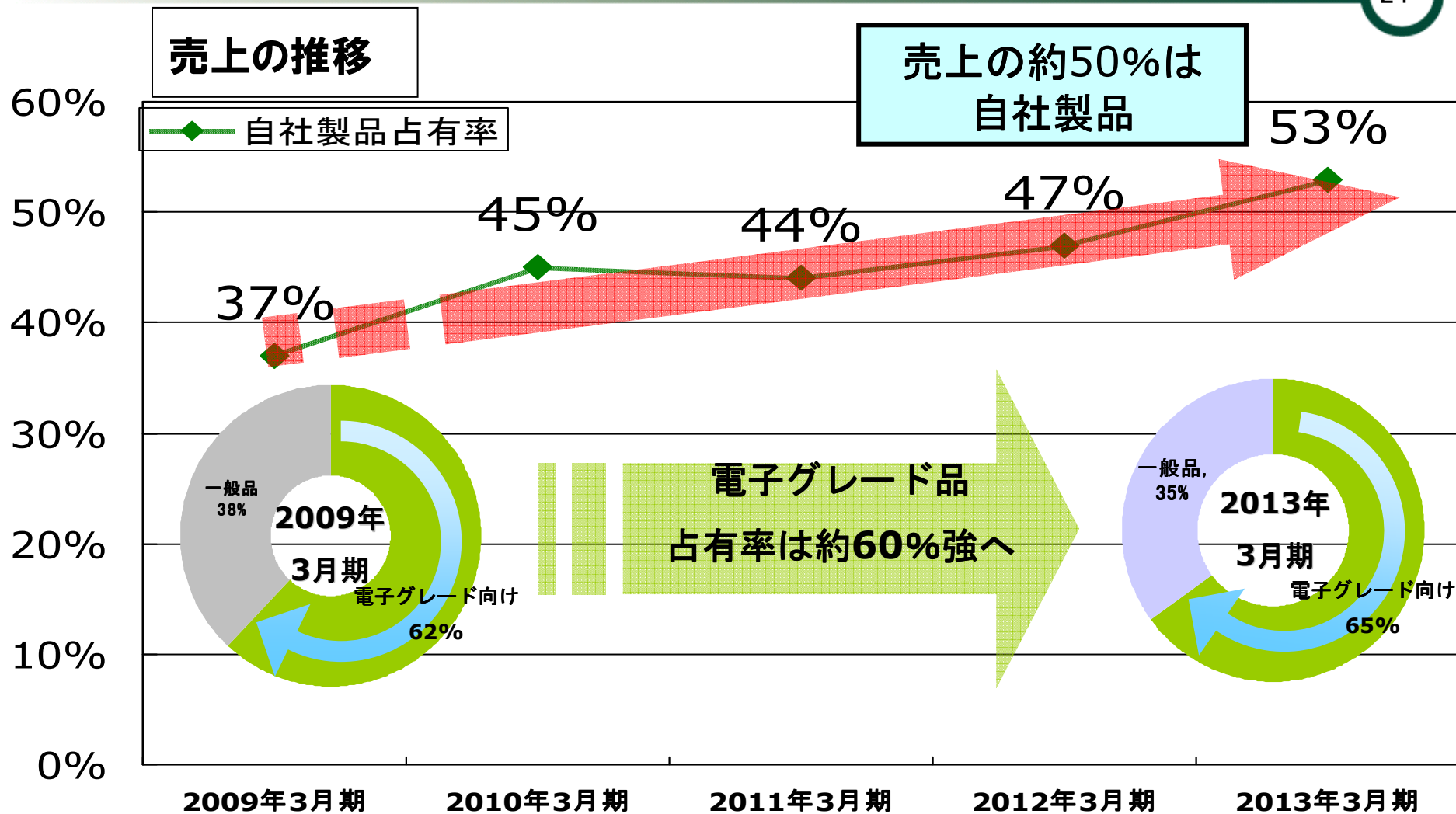


京葉工業地域

京浜工業地帯



- ・市川工場および高浜油槽所のサービスを含めた総合的な提案。
- ・鹿島・京葉・京浜エリアの顧客を開拓へ。



- ・電気・電子製品の微細化が進み、顧客の求める品質が高度化傾向。
- ・その要求にキャッチアップし、年々比率が向上。

<関西地区>

リチウムイオン電池工場マップ



■淡路工場概要

竣工日:2013年4月8日

所在地:兵庫県淡路市生穂新島9番1

面積:50,500m²

総工費:18.5億円

生産能力:3,000t/月

就業員数:26名(竣工日現在)

主な製品

リチウムイオン電池製造工程で使用する溶剤

電子材料(IC・FPD)製造工程で使用する溶剤

(関西エリアについて)

関東に比べ、二次電池メーカーや

電子・電機メーカーが数多く集積。

⇒新工場をアピールし、需要を早期に取り込む。



蒸留塔・タンク

ロジスティック部門 概要（ファインケミカル専用倉庫業）

高い参入障壁と好立地条件

- 参入障壁**
 - ・東京湾岸での新規参入は、消防法規制による高いハードルがあり、困難
- 立地優位性**
 - ・東京湾岸に立地し、高速出入口にも近接
 - ・好立地と抜群の交通アクセス



サービスの差別化

- 充実した設備**
 - ・多様な受入形態・保管施設を有し、充実した受払サービスを提供
- 高付加価値サービス**
 - ・ファインケミカル事業で培ったノウハウを活かし、品質管理に強み

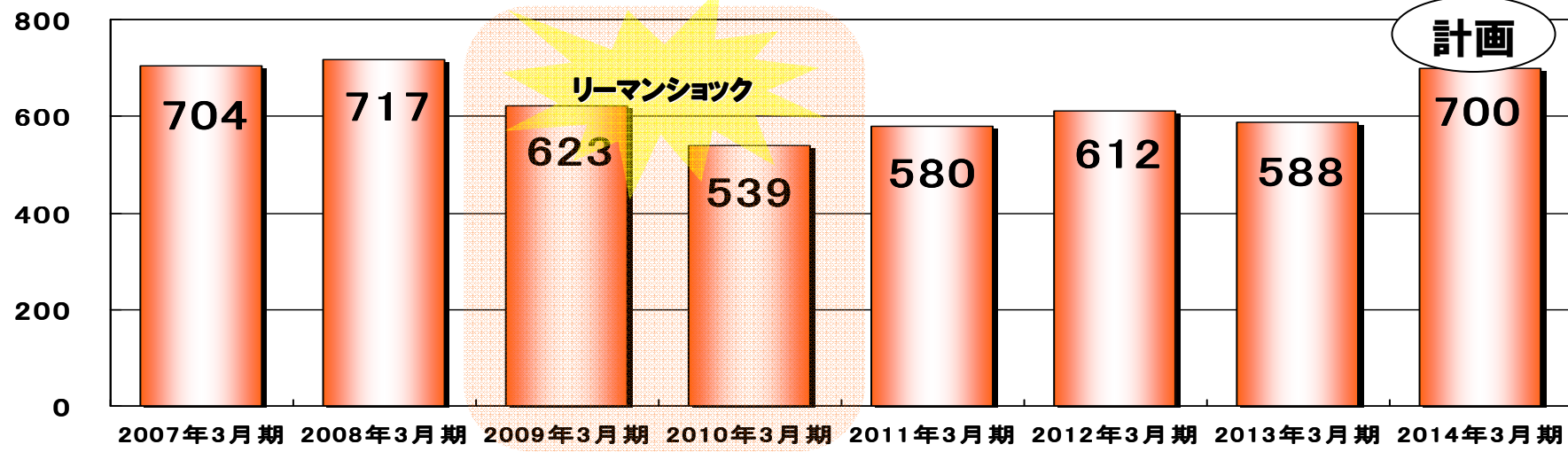


為替変動への対応

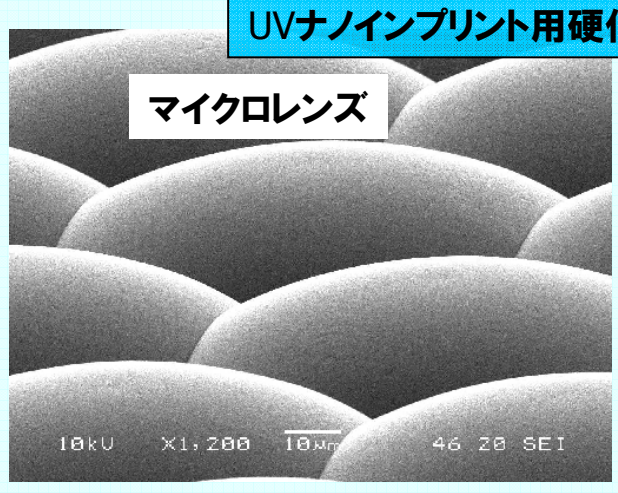
- ・円安時・・・日本からの輸出品のストックヤードとしてのニーズ
- ・円高時・・・海外からの輸入品のストックヤードとしてのニーズ
(近年、中国からの輸入品が増加傾向)

■ 研究開発費の推移

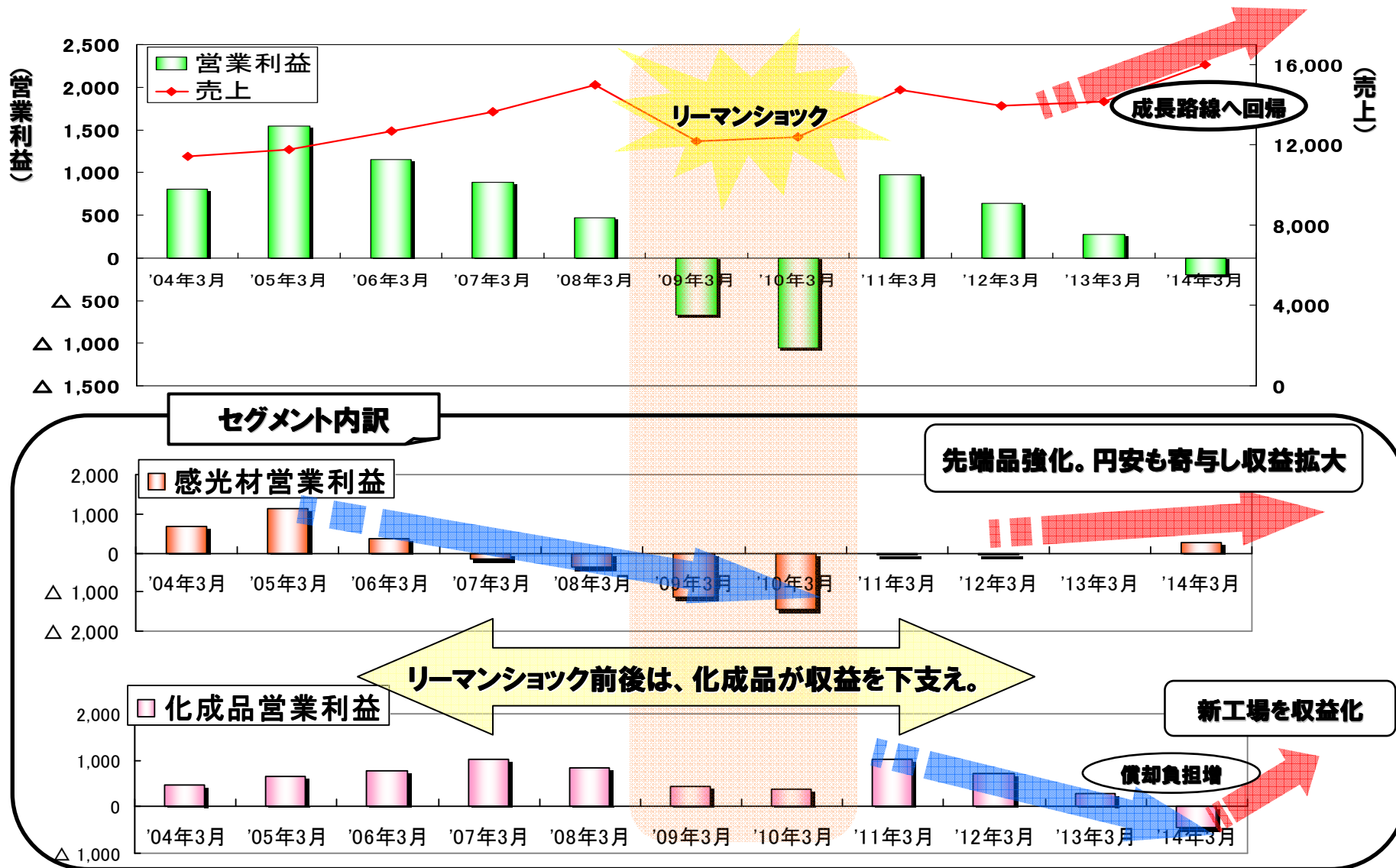
(百万円) **研究開発は当社の生命線。毎年5～7億円を投入。**



新規開発テーマ(一部紹介)



■ 今後の成長に向けて～セグメント別利益の推移(過去10期+計画)～





東洋合成工業

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。